

作成年月日:2025年10月28日(Ver.1.0)

京都第一赤十字病院(病院長:大辻 英吾)では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される診療情報等は日本整形外傷学会で報告されます。

なお、下記研究は京都第一赤十字病院の倫理審査委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て、個人情報保護法に規定する規律を遵守して実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って仮名加工化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で、研究参加同意を撤回されたい場合は/情報の活用に関して拒否をされたい方は(機関のIC手順によってお選びください)担当者にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】恥骨逆行性髄内 screw 挿入時の上殿動脈損傷リスク評価

【研究代表者(情報の管理責任者)】

研究代表者:京都第一赤十字病院 第一整形外科部長 植田秀貴

【診療情報の対象者(研究対象者)】

- 1)受診期間:西暦2024年4月1日から西暦2025年10月31日までに受診
- 2)受診科:京都第一赤十字病院 消化器外科, 救急科, 泌尿器科, 産婦人科
- 3)対象者:骨盤部造影 CT を撮影された方

【診療情報等の項目】

診療情報等:【年齢、性別、身長、体重、造影 CT】

画像処理:恥骨逆行性髄内 screw 挿入を仮定して作図を Synapse Vincent 上で行い、screw が腸骨外板を貫通した部位から近接する上殿動脈までの距離、screw が近接する部位の血管径、screw から大坐骨切痕までの距離

【研究目的】

恥骨逆行性髄内 screw 挿入時の上殿動脈損傷リスクを明らかにすること

【研究(利用)期間】

研究開始予定日:研究実施許可日

研究終了予定日:2026年10月31日

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

当院研究責任者(当院の情報の管理責任者):京都第一赤十字病院 第一整形外科 植田 秀貴

問い合わせ担当者:植田 秀貴

電話:075-561-1121(代表)